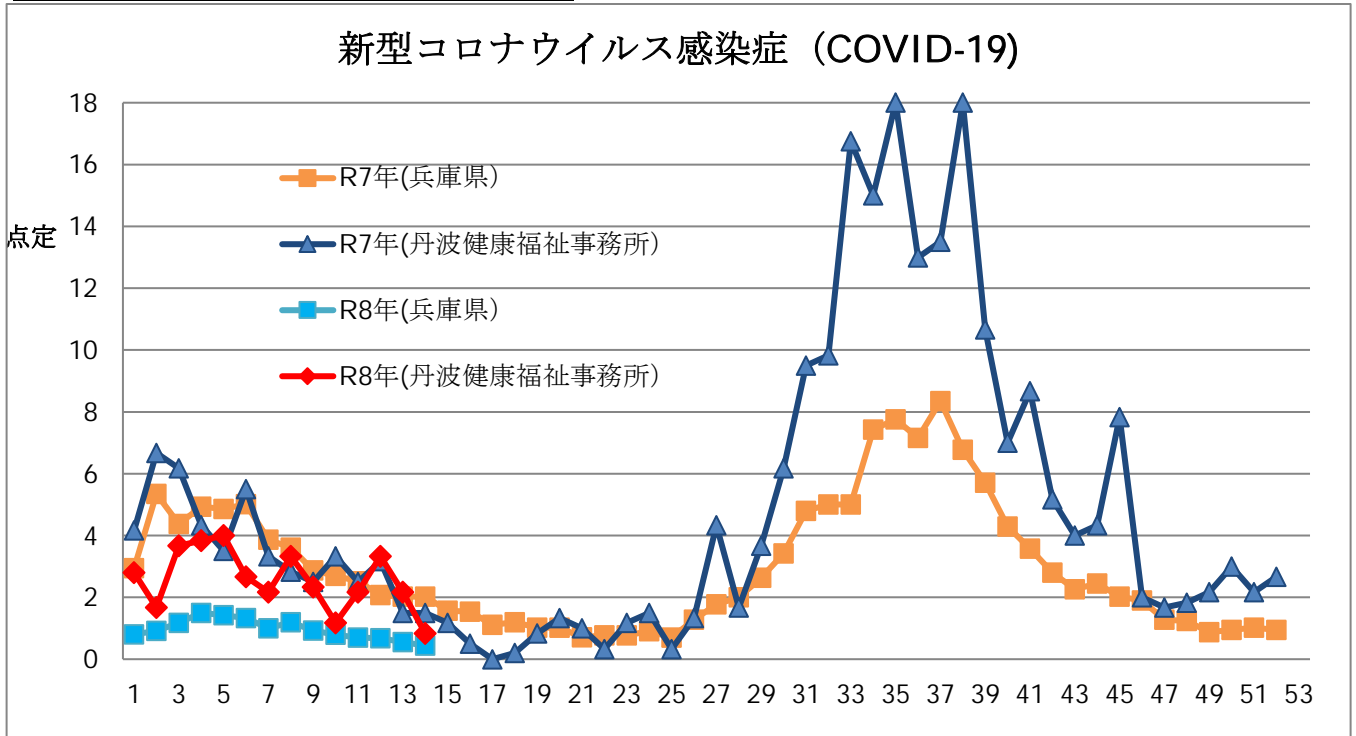


丹波地域の感染症発生動向調査

2026年第14週(2026.3.30~4.5)

1 今週のトピックス

・ 新型コロナウイルス感染症...減少 **定点医療機関あたり報告数第14週 0.83 (先週 2.17)**



コロナ感染症に感染したときは、同居している高齢者やお子様への二次感染を予防し、流行の予防に努めましょう。

家族が新型コロナウイルスに感染した時のポイント

新型コロナウイルス感染症に感染された方について

発症後5日間かつ症状が軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることが推奨されます。また、10日間が経過するまでは、マスクを着用し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

お世話をする方や同居家族の方について

ご自身の体調にも注意してください。

- 感染した方の発症日を0日として、特に5日間は注意してください。
- 7日目までは発症する可能性があります。
- 外出するときには人混みを選び、マスクを着用しましょう。高齢者等のハイリスク者との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

家庭でできる感染対策

1. 窓を開けて換気

定期的に換気をしましょう
共用スペースや他の部屋も頻りに換気しましょう。

2. 部屋を分ける

可能な範囲で部屋を分けましょう
お世話はできるだけ離れた方で。接触する時間をなるべく短くするようにしましょう。
心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染のお世話をするのは避けてください。

3. マスクを着用

同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう
感染した家族に接する時や外出する時はマスクを着用しましょう。マスクを密閉よくフィットさせ、正しく着用しましょう。

4. 手洗い等の手指衛生

こまめに手洗いしましょう

その他一般的な衛生対策として、汚れたリネン・洋服は洗濯し、ゴミは密閉して捨てましょう。

厚生労働省
作成：令和5年5月6日

梅毒が増えています

2026年1月6日現在

いま、梅毒ばいどくが急拡大していることをご存知ですか？



梅毒ばいどくを放置すると
あなたがきつかけで
大切な人も感染する
可能性があります

- 性的接触があれば、誰でも感染する可能性があります。セックスや、キスでもうつる感染症です。
- 感染すると、性器や口の中に小豆から指先くらいの大きさのしこりや痛みの少ないただれができ、手のひらや足の裏など、体中に痛みやかゆみのない発しんが広がります。無症状の場合もあります。
- 放置すると、心臓・血管・脳などに病変が生じ、障害が残る可能性があります。

国立健康危機管理研究機構 感染症情報サイト

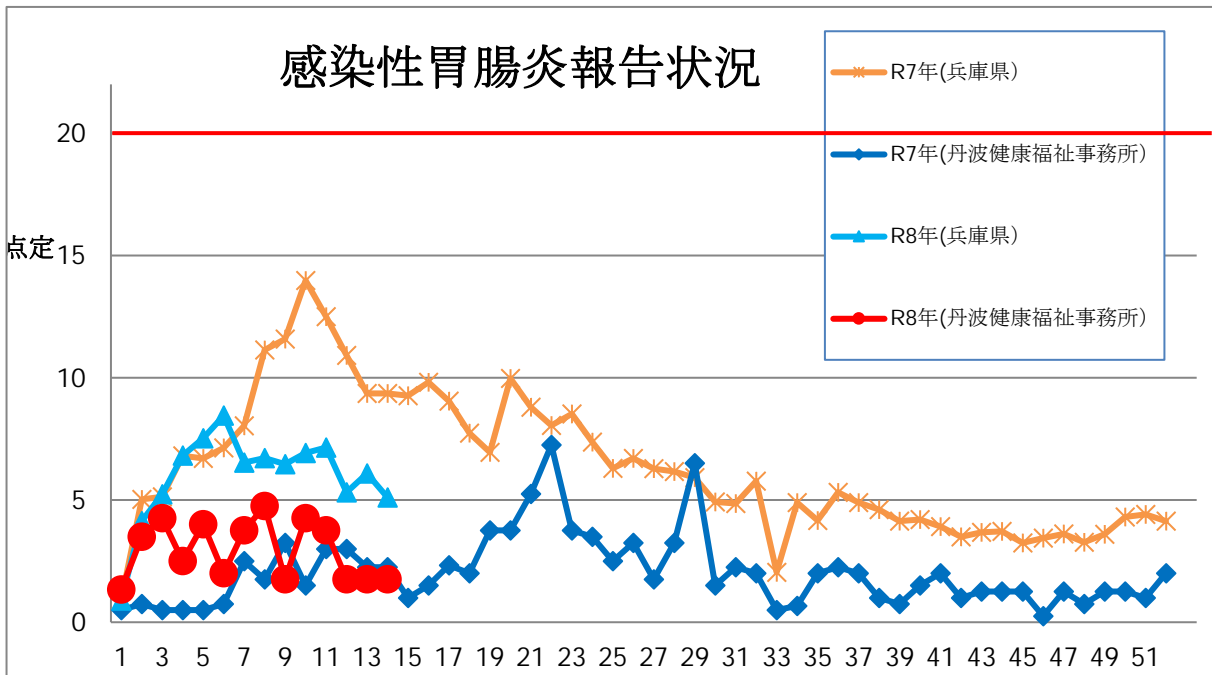
「日本の梅毒症例の動向について

[日本の梅毒症例の動向について \(2026年1月6日現在\) Notification Trends Among Syphilis Cases in Japan | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト](#)

2 注目の感染症

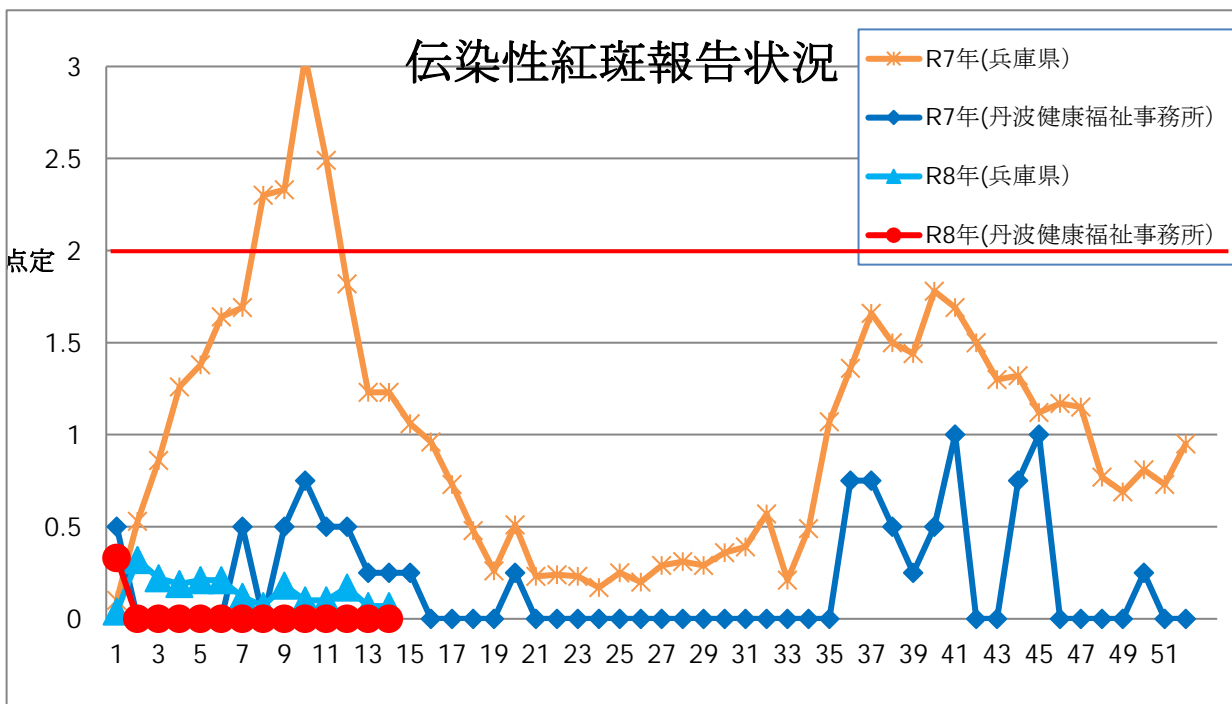
・ 感染性胃腸炎...増減なし

定点医療機関あたり報告数第 14 週 1.75(先週 1.75)

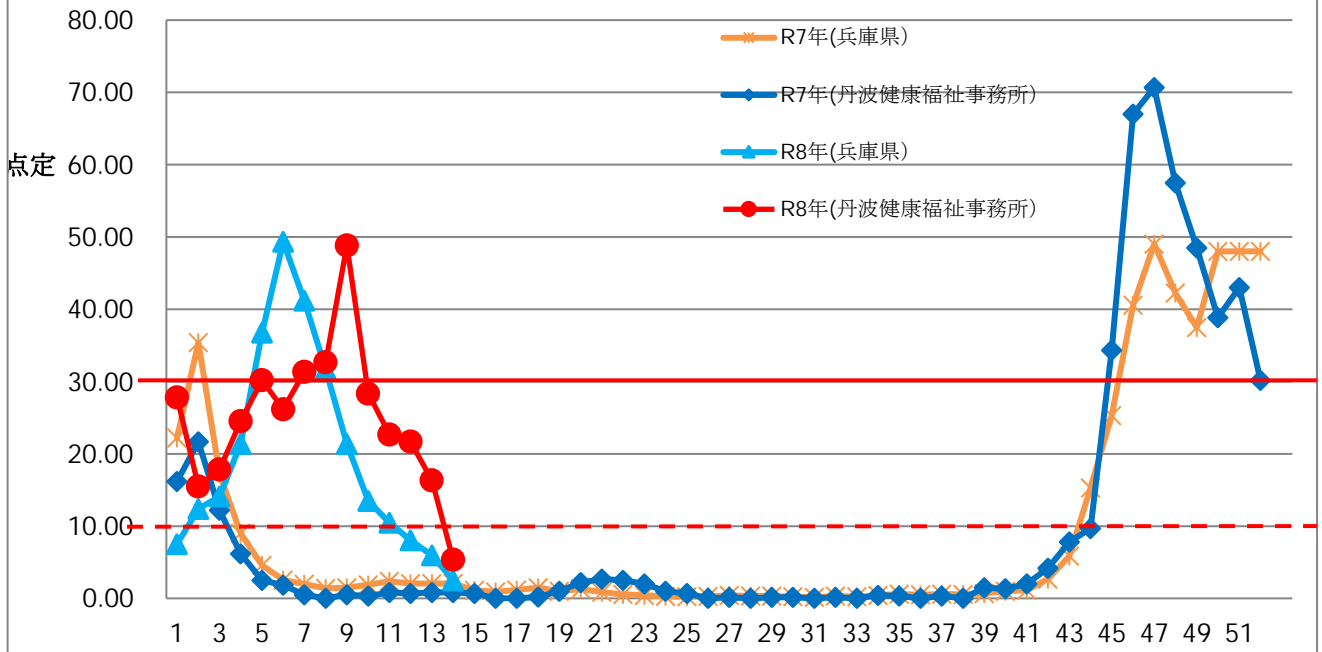


・ 伝染性紅斑...増減なし

定点医療機関あたり報告数第 14 週 0.00(先週 0.00)



インフルエンザ報告状況



インフルエンザは、第14週で5.33（先週16.33）となり、減少しています。警報レベル（30.00）を下回りました。

■ 感染症は予防が肝心です

県民の皆さまにおかれましては、以下の感染症対策を徹底し、感染予防に努めましょう。

1. 手洗いの励行

帰宅時には石けんを用いて手洗いを行い、手指に付着したウイルスを物理的に除去することで感染リスクを減少させましょう。

2. マスク着用と咳エチケット

人混みではマスクを着用し、咳エチケットを守ることが重要です。帰宅後は、マスクの外側を内側に折りたたんでから廃棄してください。

3. 室内の湿度管理と換気

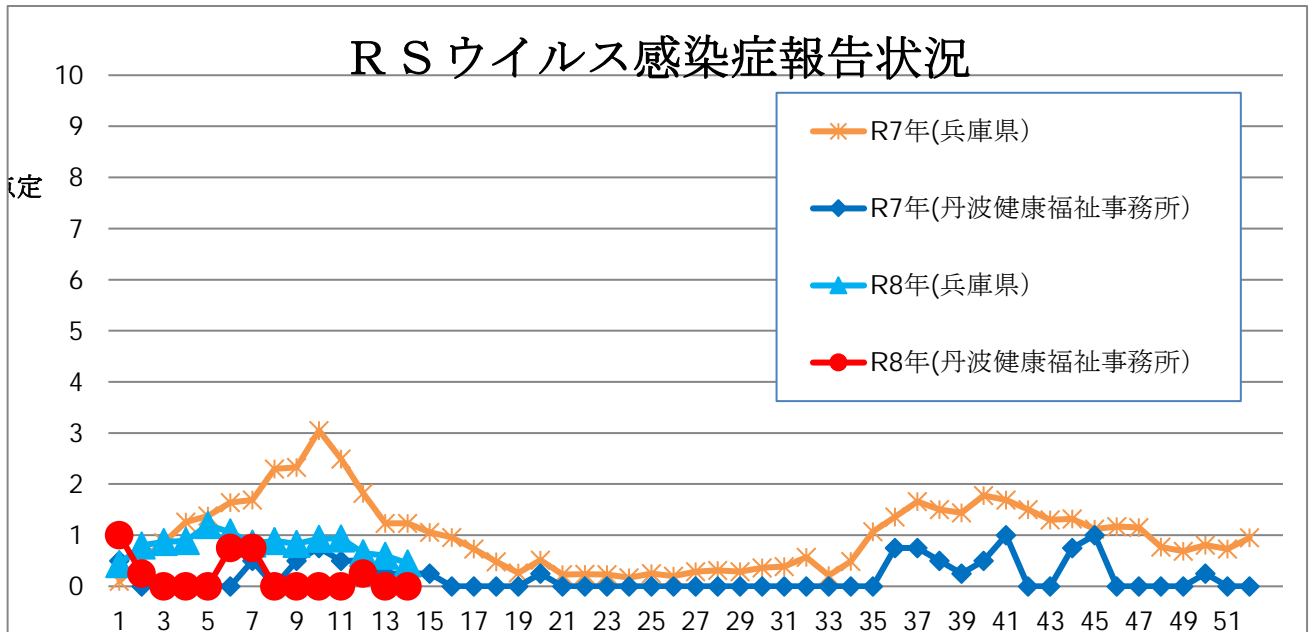
室内では適切な湿度を保つことが大切です。空気が乾燥すると感染リスクが高まるため、加湿器を活用し、湿度を50～60%に維持することが推奨されます。また、適宜窓を開け、室内の空気を入れ替えましょう。

4. 免疫力の維持・向上

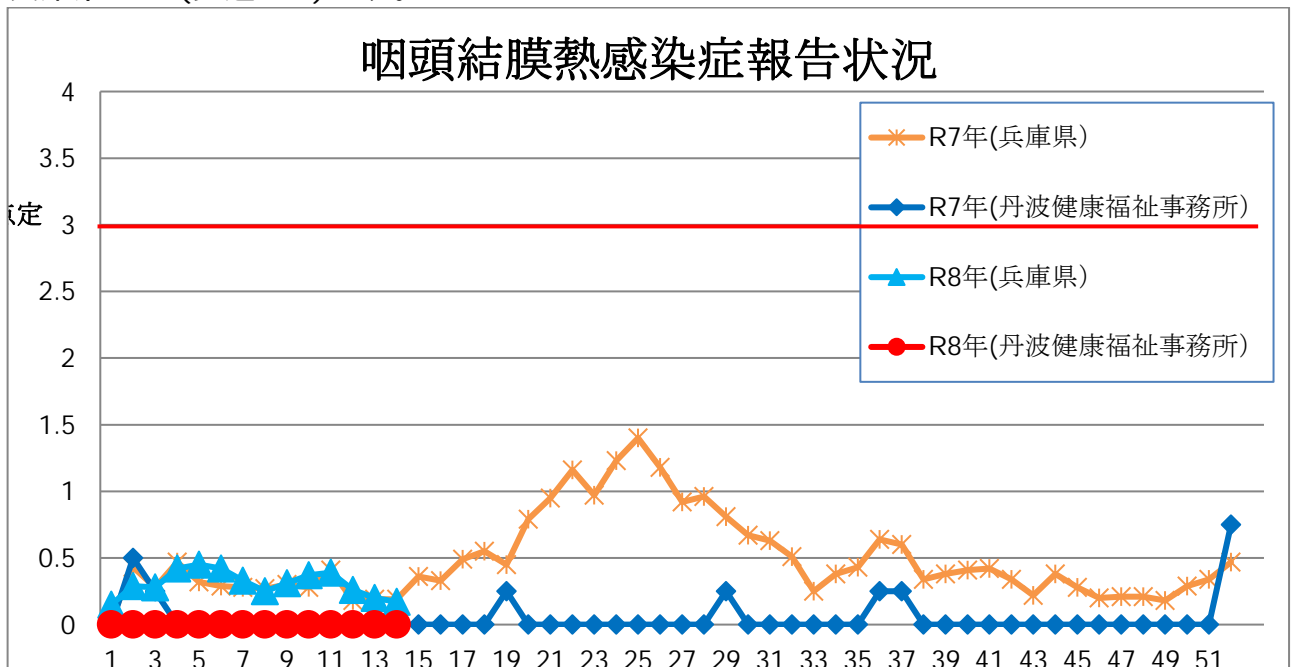
免疫力を高めるため、バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけましょう。併せて、ビタミンC・ビタミンD・亜鉛などの栄養素を積極的に摂取することも有効です。

3 その他感染症

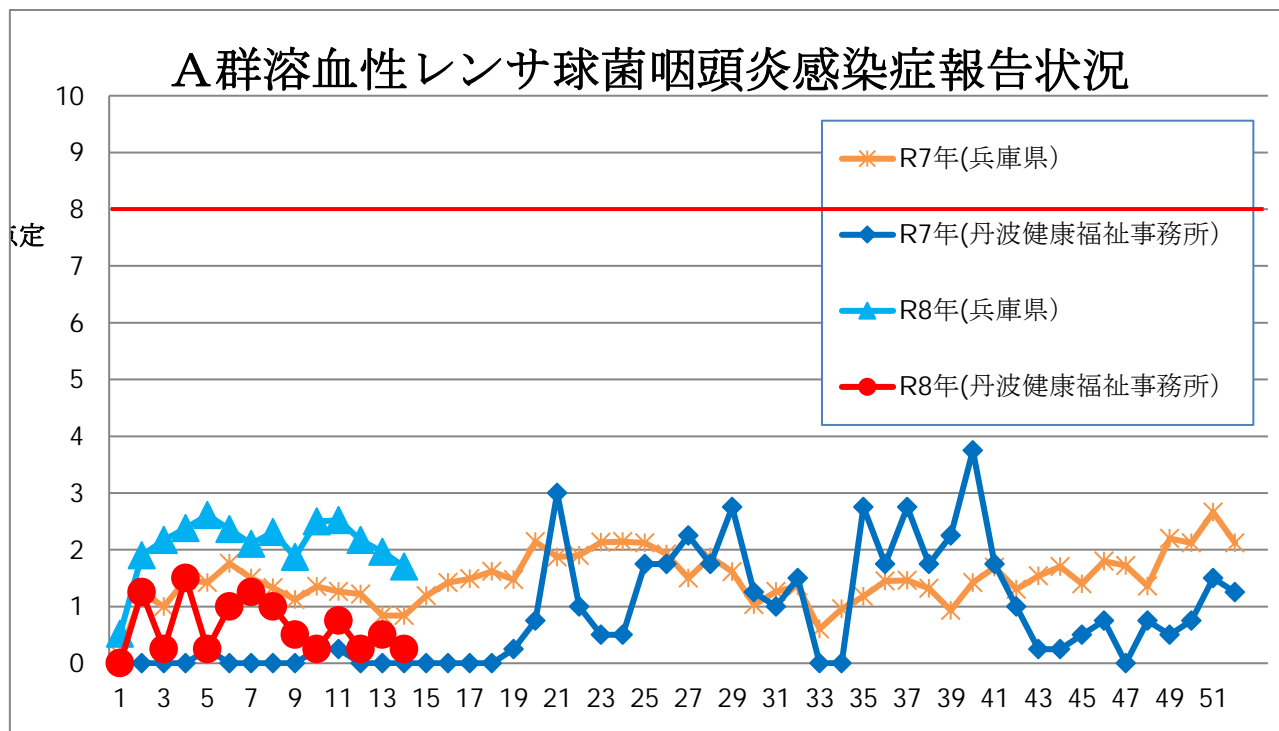
第14週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)
兵庫県 0.45(先週 0.6)です。



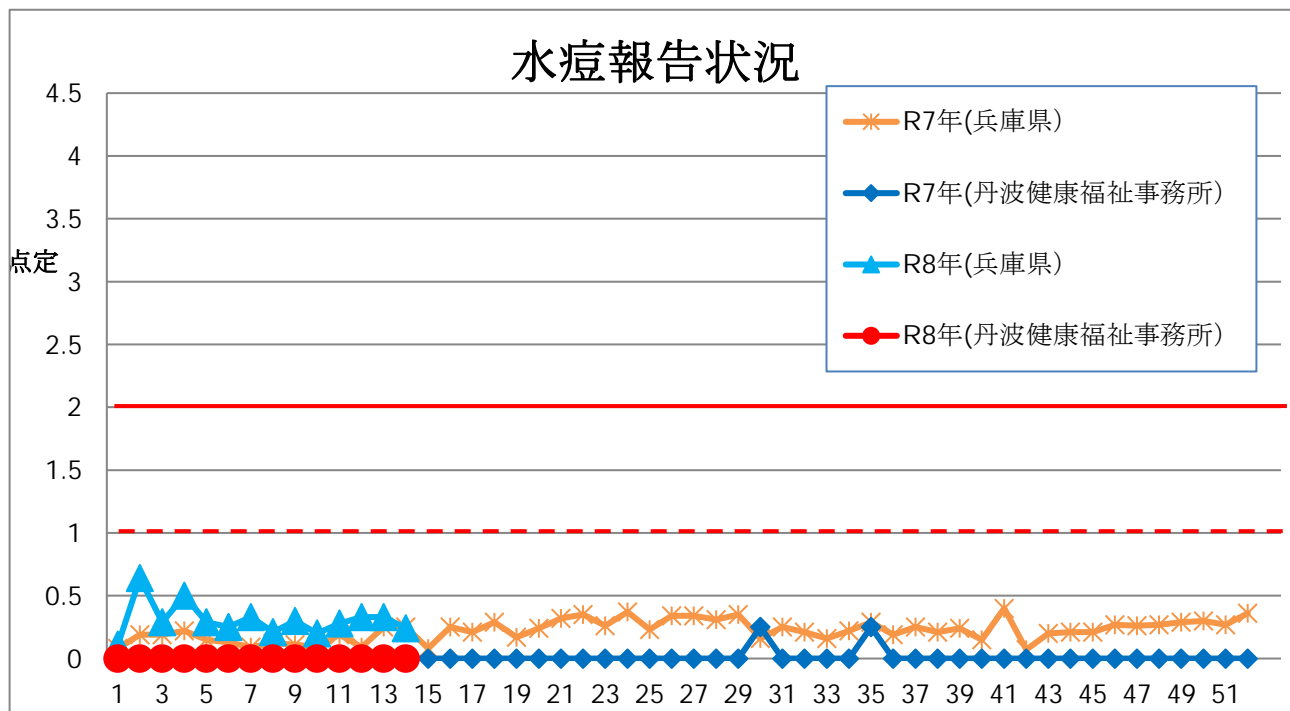
第14週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)
兵庫県 0.17(先週 0.2)です。



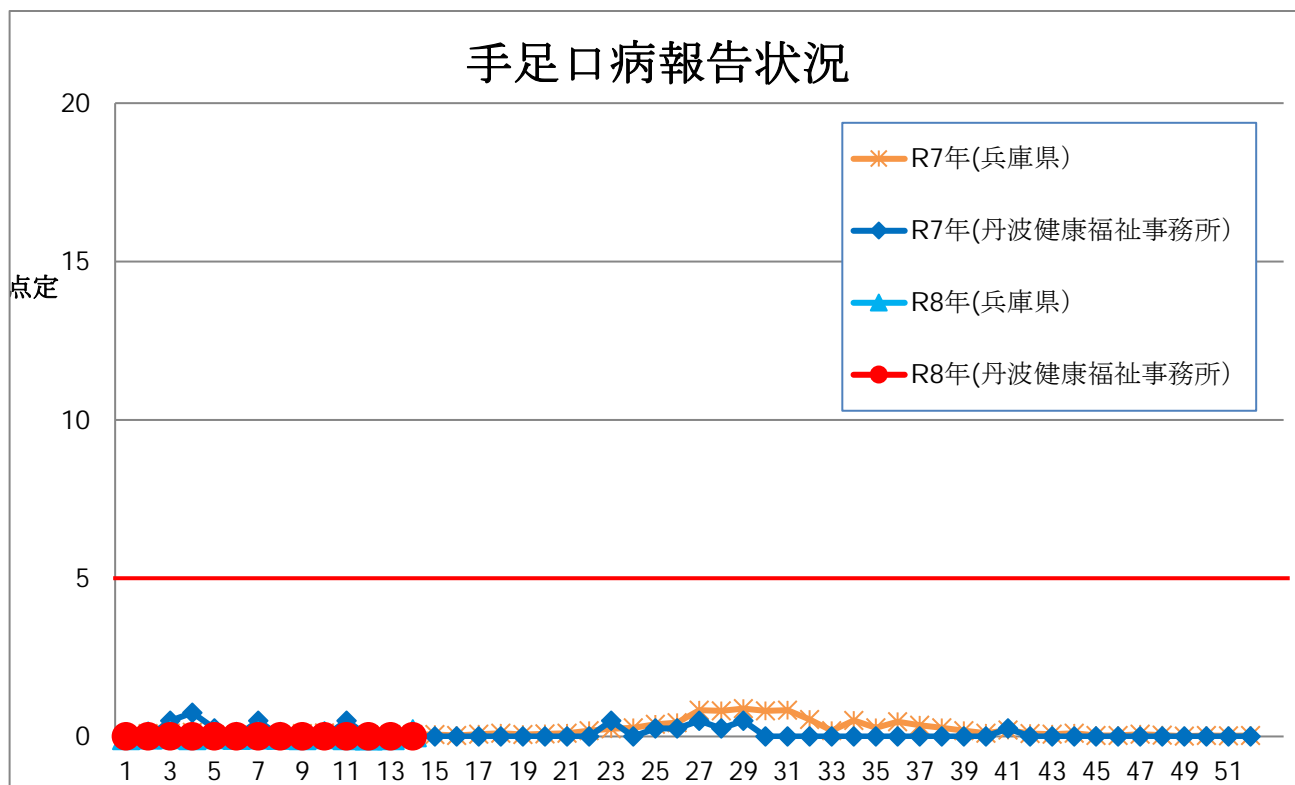
第 14 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.25(先週 0.5)、
兵庫県 1.7(先週 1.96)です。



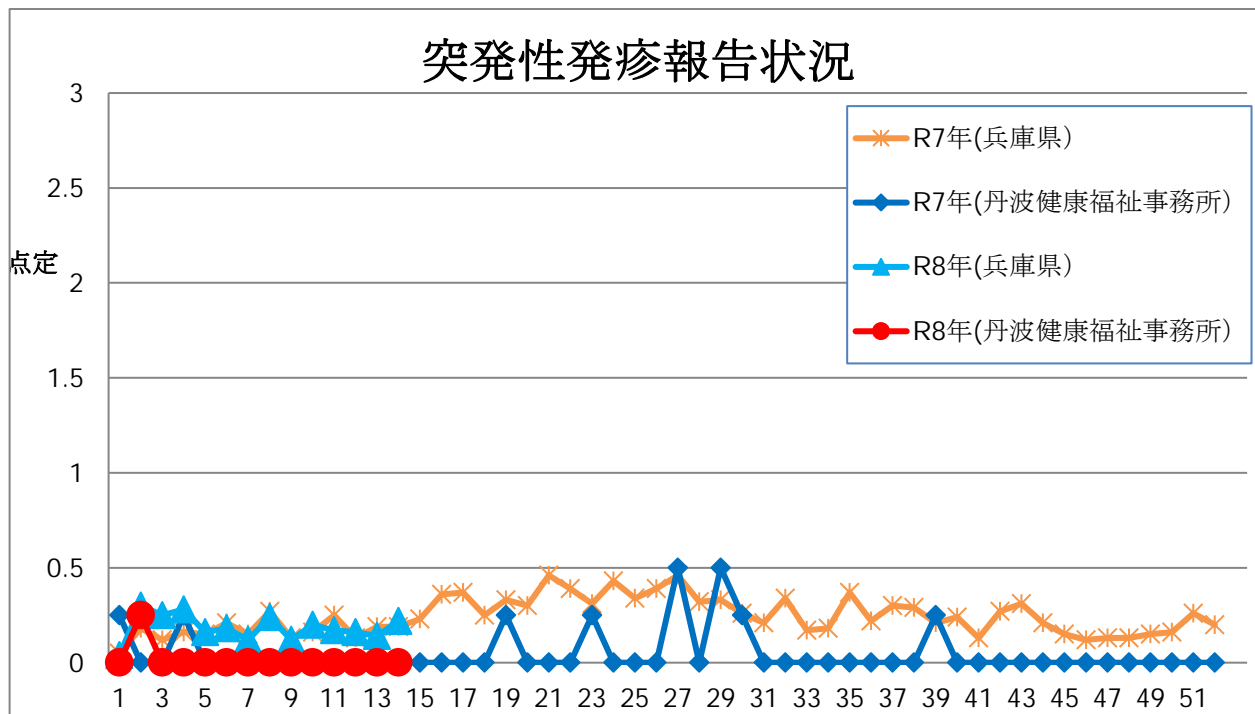
第 14 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)、
兵庫県 0.24(先週 0.33)です。



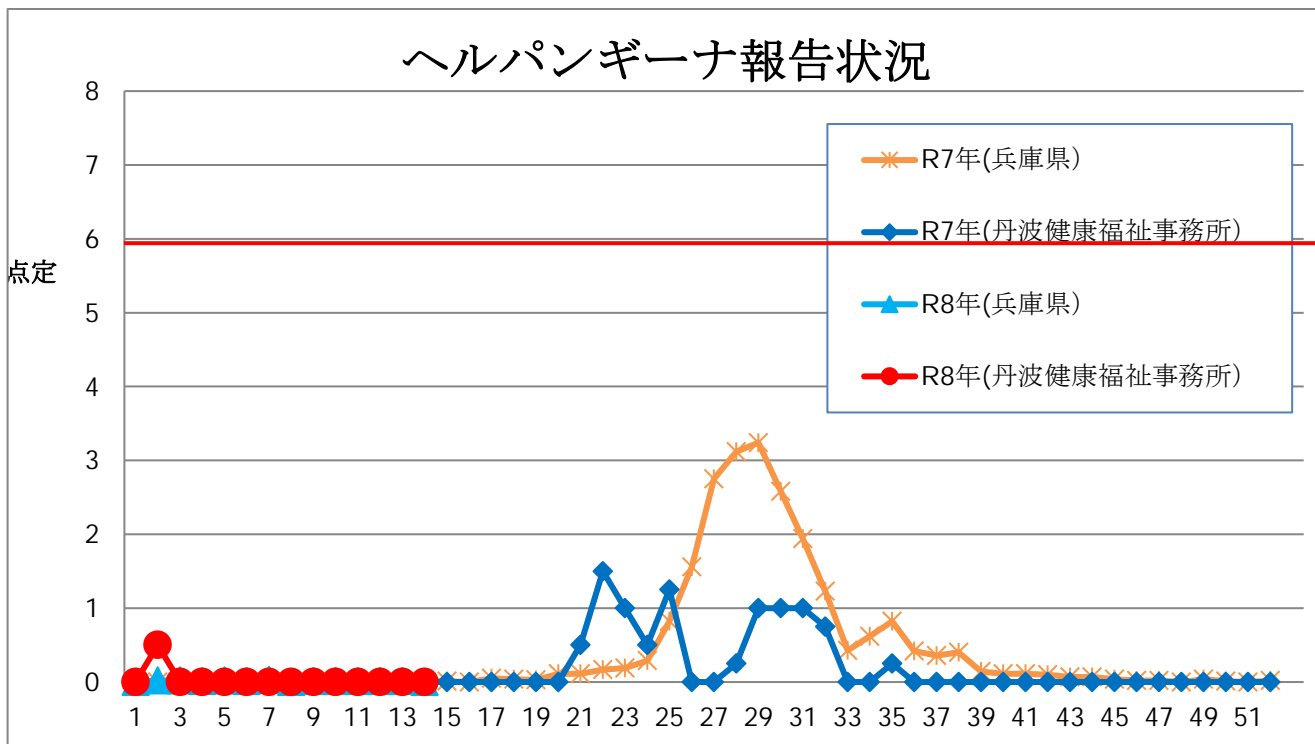
第 14 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)、
兵庫県 0.1(先週 0.01)です。



第 14 週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)、
兵庫県 0.22(先週 0.14)です。



第14週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)、
兵庫県 0.00(先週 0.01)です。



第14週における定点医療機関あたりの報告数は、丹波地域 0.00(先週 0.00)、
兵庫県 0.01(先週 0.04)です。

